



# 愛のひだまりで心豊かに育つ

## ひだまりだより

令和5年  
6月号



社会福祉法人 温和会 ひだまり認定こども園 園長 伊波諭作 電話 936-8084

梅雨の季節、ジメジメした気温や長く続く雨も、こども達にとっては空からの素敵なプレゼント。長靴大好き！傘大好き！雨は大好きなお友達の様です。こども達に「雨はどんな音？」と尋ねてみると「ザーザー」「パラパラ」「ポンポン」など色々な返事がありました。あそびながらこども達は、自然の音にも耳を澄ませているのですね。

今月は雨の日ならではのあそびを、各クラスで取り入れていきたいと思います。

### 今月の保育目標

- ☆園での生活や活動に期待を持ちながら、自分なりの園生活ができる。
- ☆歯みがきに関心をもち、食後の歯みがきを習慣づける。

### 6月の予定

- 6日(火): 身体測定
- 10日(土): 時の記念日
- 17日(土): 保育参観  
午後園内研修
- 18日(日): 父の日
- 21日(水): 避難訓練
- 23日(金): 慰霊の日(休園)
- 29日(木): お誕生日会  
(お弁当持参)

☆7/1(土)夕涼み会を予定しています。



### 保育参観のお知らせ

新年度が始まり2ヶ月が経ちました。子ども達も環境に慣れてきて、笑い声が飛び交います。

さて、今年度初の0・1・2歳児の保育参観を行います。お楽しみに!(3・4・5歳児は8月に行います)

日時: 令和5年6月17日(土)

午前10時開始

※1世帯2名様まででお願いします



### 「お母さんはあなたの第1号のファン」～天才漫画家手塚治虫を生み出した母の言葉～



手塚治虫は1928年に比較的裕福な家庭に生まれました。治虫の母文子はとても優しく理解がありいつも治虫のありのままを受け入れていました。治虫の実家の本棚には沢山の本や漫画が並んでおり、文子は治虫に熱心に本や漫画の読み聞かせをしたそうです。登場人物に応じて声色を変え、心を込めて語りかけるその姿はまるで女優のようでした。そのころから治虫は本や漫画の世界に引き込まれたそうです。やがて治虫は小学生になり当時かなり有名な進学校に入学しました。ある日学校での授業中、漫画が大好きだった治虫は漫画を描いていました。それを見つけた先生はカンカンに怒り母親を呼び出します。当時は漫画の価値は十分に認められていなかった為、漫画を描くのを止めるようにと叱られたそうです。家に帰って母は治虫に「どんな漫画を描いていたのか見せてちょうだい」といい母は治虫が描いた漫画を何も言わずに最初から最後までじっくり読んだ後「治ちゃん、この漫画はとってもおもしろい。お母さんはあなたの漫画の、世界で第1号のファンになりました。これからお母さんの為にもおもしろい漫画をたくさん描いてください。」普通の親なら「何で、授業中に漫画なんか描いているの!？」と頭ごなしに叱ってしまうかもしれませんが。しかし彼女は世間に咎められようとも彼を認め褒めてあげたのです。治虫は大好きなお母さんに褒められた事で自信を持ちそれから漫画を描き続け、小学校3年に初の作品。5年に長編漫画を完成させました。この作品は仲間内だけでなく学校の教師達からも話題になりそれからは学校で漫画を描くことも黙認されるようになったそうです。

1945年、治虫は大阪帝国大学付属医学部に入学。ジャングル大帝や鉄腕アトムなど連載の執筆をしながら医師国家試験に合格。医学博士の肩書を持ち一時は医者を目指した治虫でしたが次第に医学と漫画の両立に悩むようになり母に相談します。すると母はこう尋ねました「あなたは漫画と医者とどちらが大事なの?」治虫は母の前で素直になり即座に「漫画です!」と答えた。「じゃあ漫画家になりなさい」とあっさり答えたそうです。当時漫画家の地位は低く医者とは比べ者にならなかったにも関わらず治虫の才能と情熱を信じて治虫の背中を押してくれたそうです。治虫は当時の事を振り返り自伝で「母はいいことを言ってくれたと思います。母のこの一言で決心がつき本当に充実した人生を送ることができました。」手塚治虫氏の作品には母と子の絆が度々扱われています。

「今のあなたのままでいいのよ」という損得を顧みない、絶対肯定の無条件の母の愛が治虫の才能を伸ばし天才を育てたのです。

子どもはみんなお母さんが大好き。お母さんに褒められる事が何よりも嬉しい。その素直な思いが天才を育てるかもしれませんね。